

ザリガニのだっぴ

ザリガニのだっぴ

ザリガニの体は、かたいからおおわれています。からは大きくならないので、ザリガニは古いからをぬいで大きくなります。これを、だっぴといいます。

だっぴをしたばかりのザリガニは、体はさみもやわらかいです。ザリガニは、ぬいだからを食べることがあります。からの栄養を、新しい体につかうのです。

はさみがとれてしまっても、だっぴをすると、小さなはさみが生えてきます。だっぴをくりかえすうちに、もとの大きさにもどります。

1 古いからをぬいで大きくなることを、何といいますか。



2 だっぴをしたばかりのザリガニの体は、どうなっていますか。

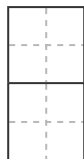
ア とてもかたい。

イ やわらかい。

ウ 赤く光っている。

3 ザリガニは、ぬいだ何を食べることがありますか。

ぬいだ



4 はさみがとれてしまうと、どうなりますか。

ア 二度と生えてこない。

イ だっぴをすると、また生えてくる。

ウ 足がはさみにかわる。